

政翔会の植村です、
毎日のように、尖閣諸島問題について、報道されていますが今回のこの事件におきまして、子供達に学校ではどのように教えているのかが、不安になってきております。

と言うのは、中国愛国教育による、本市との友好姉妹都市である西安市での尖閣諸島は中国の領土であると言う、反日デモで日本人の店を暴徒化して襲っている映像をTVで見ていると、奈良市にとっての影響も、大変不安になってくるのであります。

その領土問題で思いだすのが、昨年末の2009年12月31日産経新聞国際面で北海道教組「竹島は韓国領」韓国では歓迎との見出しで記事が掲載されていた事であります。

韓国の有力紙、朝鮮日報(28、29日付)が東京発で伝えたところによると、北海道教組(日教組系)は昨年11月、機関誌兼学習資料の「北教」で「歴史的事実を冷静に読めば韓国の主張は明確に事実立脚している。島根県などが竹島領有権を要求する行為は日本の侵略と植民地支配を正当化するきわめて不当な行為だ」と、韓国の立場を支持しているという。

これはその昨年7月、中学学習指導要領解説書が、竹島の名前を挙げ日本の領土として領土問題を教えるよう指導した後のことで、教育現場では指導要領に反し韓国の主張が正しいと教えるように指導したものとして、韓国社会では歓迎している。

これについて北海道教組幹部は、同紙とのインタビューで「教壇では対立を教えるのではなく、平和教育の範囲内で韓国の立場を生徒たちに十分に教えることが重要だ。近隣諸国には配慮すべきだ」と語っている。とありました。

領土問題で配慮なんて無いのが世界の常識であります、そのような事を平気で、教えようとしている教職員組合がありますので、私達も大変不安になるのも当然かなと思います。

そこで、質問を致します。

◎【植村質問-1】-学校において、尖閣・竹島・北方領土についての教育はどのようにされていますか。

●【石原課長答弁-1】

学校において、尖閣・竹島・北方領土についての教育はどのようにされていますかについてでございますが、小学校においては第5学年と第6学年の社会科において北方領土の記述がございます。中学校では、社会科の地理的分野と公民的分野において、尖閣・竹島・北方領土の記述があり、いずれも日本固有の領土であると明記されております。

中学校学習指導要領第2節社会に示されているように、「地球儀や地図を活用して我が国の位置と領域の特色を多面的・多角的にとらえ、北方領土が我が国の固有の領土であることなど、我が国の領域をめぐる問題にも着目させるようにすること」を踏まえ教育をしているところです。

■【植村コメント-1】

ありがとうございます。私は、今回の尖閣諸島問題におきまして、戦後教育の中で、日本が全面的に悪い事をしたと言う、自虐史観による影響もあるのではないかと感じております。もうそろそろそれから脱却してグローバルな世界標準の外交を考えて自立した国家になる時期に日本は来ていると感じております。今回の尖閣諸島問題をきっかけとして、学校でもよく生徒同士や生徒と先生が議論し、問題点を洗いざらい出して、今後の日本について考えていけるような教育をして頂けるように要望しておきます。

◎【植村質問-2】

全国で、小中学校の暴力行為の発生件数が、2006年度からの調査で、2009年度は、過去最多の60913件となっていると聞いております。

又、県内の小中高では、昨年1470件と1000人当たりの発生件数は9.2件で全国ワースト3位であったと聞きます。そして小学校は5割増の385件で前年+133件が発生したと聞きますが、その中で本市の状況はどのようになっているか。

●【北出課長答弁-2】

小中学校の暴力行為の2006年度からの発生件数について、本市としての状況でございますが、年度ごとに増減しており、連続して増加傾向ということではございません。2009年度は、小学校65件、中学校262件で、前年度の72件、295件を下回っております。その内、83%は生徒間暴力（知り合い同士の暴力）、器物損壊（校内の物を壊す）で占められております。又、奈良市としての順位等はだしておりません。

◎【植村コメント-3】 -

県内小中学校ではワースト3位であるが、「小学校65件、中学校262件」という数字に対して、調べておられないとの事ですが、先ほどの報告にあらました、全国学力調査や、学習状況調査では、全国、奈良県、奈良市と調査しているのですから、今後は判断できるように調査はして頂けるように要望しておきます。

◎【植村質問-4】 -

携帯ネット被害に関して質問を致します。

昨年度ケータイ・ネット被害から子供達を守る奈良市インストラクターの皆さんが7月21日に開催された「飛鳥小学校での携帯インターネットの危険性についての講演会に参加された市民の感想を紹介します。」

今までにこの様な携帯電話に関するセミナーには数回、参加しましたが今回のセミナーに参加して、携帯電話の危険性が、「リアル」に良く理解でき、現状において大変な事に成っていると言う事が分かりました。

今後は「子供に携帯を買って欲しいと言われても」大人になるまでは、買い与え無いようにします。フィルタリングの重要性が良く分かりました。明日にでもお店に、ホワイトリスト方式のフィルタリングをかけに行きます。等がありました。

次に要望としては、セミナーに参加した保護者は危険性が理解できても、セミナーを受けていない保護者は、危険性が分からずに、子供に買い与えてしまう場合があります。そうすると、我が家の子供は「みんな持っているのに私だけが何故持てないのか？」とせがまれたり、持っていない事で、虐めに遭ったりするのではないかと不安であり、**だから地域や学校で、携帯電話を持たないようにしましょう**と言う様な活動をしてもらいたい。

同じく石川県の様に、持たせない条例を、奈良県や奈良市にも条例整備をしてもらいたい等の要望がありました。

さて、学校におけるネットパトロールの必要について、文部科学省も専門会議を設けたと聞きました。報道では「2010年9月9日 子どもたちの間でインターネットの自己紹介サイト「プロフ」や、会員制交流サイト（SNS）を介したトラブルが目立つ中、文部科学省は、主に小中学校を対象に

ネット監視をする「学校ネットパトロール」の普及に乗り出す方針を固めた。専門家会議を設け、学校で取り組む対策や監視ボランティアの育成、警察との連携などを議論。本年度中に具体策をまとめ、学校に広める。」とありましたが、

本市は、他市より携帯ネット被害について指導するインストラクターの養成等については、進んでいると思いますが、今後のボランティアの養成の必要性について、どのようにお考えでしょうか。

●【北出課長答弁-4】

学校におけるネットパトロールについて、今後のボランティアの養成の必要性についてでございますが、奈良市といたしましては、平成21年度に「携帯・ネットから子どもを守るリーダー養成講座」を実施いたしました。本年度は、奈良県・奈良県警察等が中心となって実施しておられる「ケータイ・ネット指導員」によります啓発講習会に参加していただけるよう、各校園の保護者や教職員に案内をする予定です。

◎【植村質問-5】

案内するとの事ですが、10月29日読売新聞の見出しで、「**児童のケータイ被害、フィルタリング未設定がほとんど**」

コミュニケーション系のサイトは、フィルタリングで制限されているものの、第三者機関であるEMA（モバイルコンテンツ審査・運用監視機構）が認定したサイトだけは、制限なしで見ることができる。具体的にはGREE、魔法のiらんど、モバゲータウン、前略プロフィールなど33サイト（10/15現在）が認定されている。これらのサイトは、有人の監視体制がある、運用基準があって厳格に守られている、などの条件をパスして、いわば「お墨付き」をもらっているわけ。

ところが、このEMA認定サイトでも、児童被害は起きていた。**警察庁が調べた非出会い系サイトでの730件の事件のうち、367件（50.3%）**がEMA認定サイトに起因するものだった。EMAによってお墨付きをもらったサイトでも、児童被害が多く発生していることになる。EMA認定の信頼度に関わる深刻な問題だろう。

ただし注意したいことが一つある。それはフィルタリングとの関係。EMA認定サイトは、フィルタリングがかかってもアクセスできる（より厳しいホワイトリスト方式のフィルタリングを除く）。ということは、フィルタリングの有無と関係なく、EMA認定サイトでの児童被害が出るはず。とありました。

警察庁はこの10月28日に「非出会い系サイトに起因する児童被害の事犯に係る調査分析についての調査報告を公表した。「非出会い系サイト」とは聞きなれない言葉だが、SNSやプロフなどのコミュニケーションサイトのこと。出会い系サイトでの児童被害は、出会い系サイト規正法と取り締まりによって減少したが、それ以外の一般のコミュニケーションサイトでの被害が目立ってきているという。今回の調査では、非出会い系サイトでの児童被害事件730件を分析している。

報道では、GREEは平成22年7月末時点で会員が**2125万人**になった。またディー・エヌ・エーの8月5日発表の資料によれば、モバゲータウンの同月末会員数は**2048万人**とありました。10人に1.5人は会員と言う事に成ります。

GREEはこれら日本最大級のSNSの中でトップに抜きん出たことになる。

2010年6月期Q4の売上は109億4000万円、営業利益は52億9400万円だった。前年同期比では

売上で113%、営業利益で101%と大きく伸びている。

要は、この不景気な中で、すごく儲かるという事です。しかもEMAの認定を受けているんですよ。それなのに、「ケータイ・ネット指導員」によります啓発講習会に参加していただけるよう、各校園の保護者や教職員に案内をする予定ですとの事です。それで防げるのでしょうか？
例えばその指導員を何人位の養成を計画をして、具体的な活用をどのようにお考えですか？

●【北出課長答弁-5】

啓発講習会の案内をすることで、携帯ネット被害を防げるのかと言う事です。これだけでは十分ではないと考えております。児童生徒・保護者・教職員対象の啓発講習会を、指導主事が学校にまわり指導しております。また、指導員の養成計画ですが、県の事業でありますので、本市としての具体的な計画はございません。

■【植村コメント-5】

それでは、あますぎる！もっと積極的に取り組まないと、子供たちが守れないので頑張ってください！

◎【植村質問-6】 -

今年の、夏の大極殿前庭でのNPOなら燈花会は素晴らしいものがありました。そしてそのなら燈花会が本日は東京にいます。

明治神宮鎮座90年を記念して、10月29日～11月1日までの4日間に渡って開催される「明治神宮鎮座90年記念・アカリウム」に『なら燈花会』も明治神宮への奉納という形で参加されています。

本日メールが届きました。台風等の天候不順で結構バタバタしましたが、昨夜は大変な人出でいいPRが出来たと思います…。本日も天候はまいちですが、午後から回復するとの事なので、有終の美を飾って明日帰りますので宜しくお願いします。

ちなみに4日間を通して原宿から青山までの表参道両側に占風燈を160機設置しており、昨夜までは本参道に3000個のカップを東京のボランティアと奈良県事務所の方々と南都銀行東京支店の方々とで設置、今夜は奈良のメンバー20名も加わり、明治神宮の全参道に8000個のカップを配置する予定との事でした。

さて、大極殿前庭で夏の夜を、輝かせてくれた、燈花会が平城遷都祭について、どのようにする予定ですか？

●【西手課長答弁-6】

平城遷都祭についてでございますが、今年の平城遷都1300年祭平城宮跡会場での平城遷都祭の果たした役割は、大変大きなものがあつたと評価しておりますし、ポスト平城遷都1300祭のイベントとして継続開催すべきものと考えております。

現在、平城遷都祭実行委員会と来年度の平城遷都祭の開催方針について協議中でございます。

■【植村コメント-6】

事業仕分けに掛けられて、遷都祭実行委員の方々も良い気はしておられません！しっかりと実行委員さんと協力して頂けるように要望しておきます。

◎【植村質問-7】

先日、田原地区の行事で田原 1300 年記念プロジェクト「田原まるごと再発見」収穫祭に参加しました。当日は約 1000 人の参加者が合ったようです。そこで、田原の山里博物館等のハイキングコースを大阪周辺より来場された観光客 30 人位と共に見学ハイキングに同行しました。そこで田原地区と観光について質問します。

古事記ができて、2012年は1300年にあたるわけですが、田原地区の古事記の制作者である太安萬侶の墓について、ポスト 1300 年事業としても、すばらしい題材だと思うのですが、このすばらしい周辺の観光整備をどのように考えているのか？特に、先日の天皇皇后両陛下の行幸の時も、懸念されたのが公衆トイレの整備については、特に観光地のおもてなしでトイレは最低限必要な施設でありますので、その点も含めて観光整備についてのお考えをおたずねします。

●【西手課長答弁-7】

古事記ができて、2012年は1300年にあたるが、田原地区の太安萬侶の墓について、周辺の観光整備をどのように考えているのかについてでございますが、観光客のための太安萬侶の墓の下のトイレは建て替えし昨年4月から利用していただいております。田原地区には、現存する日本最古の歴史書「古事記」の編纂者太安萬侶の墓のほか、先日天皇皇后両陛下が訪れられた光仁天皇陵や地域の人たちがボランティアの館長として仕事場の一角や個人の収集品などを公開し、地域の伝統の技や文化に触れる機会を提供していただく「田原やま里博物館」、映画「殯の森」ロケ地などがあり、新しい奈良を発見できる場所と考えております。

また、それと田原地区から、観光便所の増設について要望がございますが、まだ、具体的な建設箇所を確定されておられません。観光施設の整備の一環としてトイレの増設も必要とは考えておりますので、地元での建設用地の無償提供、管理面での地元の協力等、一定の要件を満たせば、建設も検討したいと存じます。

◎【植村質問-8】

先日の要望を聞く会でも田原地区の連合会長さん方から、お聞きしましたが、地元での建設用地の無償提供、管理面での地元の協力も準備が、整いかけていると聞きしておりますので、早急に建設検討に入って下さいますか？

●【西手課長答弁-8】

条件などがありますので、場所や管理面などが決まり次第に、検討に入りたいと思います。

◎【植村質問-9】

「新しい奈良を発見できる場所」古事記 1300 年に関しての、具体的な本市としての観光企画案を教えてください。

●【尾上課長答弁-9】

古事記 1300 年に関しての、具体的な本市としての観光企画案のご質問でございます。現点におきまして、具体的な古事記完成 1300 年の事業の計画はございませんが、県が「記紀万葉プロジェクト」を立ち上げ、調査を開始しておりますので、連携を図りながら検討してまいりたいと思います。

◎【植村質問-10】

先日は奈良工芸フェスティバル 2010 に視察に行ってきました。
すばらしい伝統工芸が伝承されており、若い生徒も育て来ており若いエネルギーを感じました。
そして、素晴らしい作品が、リーズナブルな価格で販売できており、すばらしい出来栄えに来場者も購入しておられました。そこで、ふと思い出したのが、世界歴史都市会議に参加した折に、展示コーナーにおいて、伝統工芸の若い生徒さんが実演をしておられ、外国の方々が熱心に観察をしておられました。さて、その会議でも外国の方々の質問に、歴史都市としての伝統産業がその都市の雇用に繋がっているかと有りました。確かにそれが問題であるのです。
そこで、ふと感じたのですが、奈良市は公用車等の車両をインターネットオークションで販売しておられますが、奈良工芸館のホームページもありますし、若い生徒さん達の優秀な作品をネットで販売すれば、世界中から購入希望者が現れ、奈良の伝統工芸産業の振興と、現地を訪れたいとと言う観光振興にもつながると思いますが、観光と雇用を所管しておられる、観光経済部長に私の意見についてどのようにお考えかを、お聞きします。

●【山本部長答弁-10】

今後若い継承者の育成は必要であり、また育ててきて下さっておりますが、そういった方々の活躍の場など、作品がPR できるような場所・機会を考えて行きたいと思えます。

■【植村コメント-10】

時間が来ましたので、以上で質問を終わります。ありがとうございました。